

令和6年度
事業報告書



社会福祉法人
千葉アフターケア協会

目 次

はじめに	2
【法人全体の取り組み】	
令和6年度法人目標について	3
中長期目標について	3
【令和6年度業績報告】	4
【令和6年度資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表の抜粋】	6
【役員会等開催報告】	7
事務局	8
<u>障害者支援施設ハピネス浜野</u>	9
生活介護	10
施設入所支援	11
短期入所	12
医務室・リハビリ	13
【利用者行事等実施報告】	14
【利用者週間活動実施報告】	16
【ヒヤリハット報告】	17
【事故報告】	17
【千葉県への事故等報告・苦情等】	18
<u>相談支援事業所ハピネス浜野</u>	
計画相談支援・障害児相談支援	19
<u>指定障害児通所支援事業所ハピネス浜野</u>	21
児童発達支援	23
放課後等デイサービス	24
<u>グループホームセレニテ</u>	
共同生活援助	25
【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】	27
【法人内委員会・諸会議実施報告】	28

は じ め に

令和6年度は、理事会では運営状況を共有し、各事業とも感染症対策を継続し、利用者の体調管理に努めた。報酬改定により単価の変更があり、増収となった事業所があった。

障害者支援施設では、利用者の減少で満床となっていなかったが、年度末になり満床となった。通所利用者は、体調不良などで利用日数の減少となった。初めてメンター（3名）を配置し、新入職員への育成や行事の担当を任せた。外部ボランティアの活動も増やすことができ、利用者の活動が広がった。

年度末に利用者数名が新型コロナウイルス感染症で陽性となったが、拡大防止に努めた。

相談支援事業所では、契約数は横ばいとなった。児童通所支援事業は、安定した運営ができた。共同生活援助は、下期は1床空きのままとなってしまった。

【事業報告書において記載されている主な内容】

- ・令和6年度の目標やサービス方針に対しての報告事項
- ・当初予算対比の結果
- ・直近5年間の利用者の推移
- ・行事等実施報告
- ・事故に関する報告

【役員等総数】※令和7年3月31日現在

理 事 6名

監 事 2名

評議員 7名

評議員選任解任委員 4名（うち外部委員2名）

苦情解決第三者委員 2名

【職員総数】※令和7年3月31日現在

55名

【法人全体の取り組み】

令和6年度法人目標について

法人の総合力を高める

～利用者にとって必要なサービスを提供できる体制づくり～

●チームアプローチの強化

●チンゲンサイよりザッソウ（沈黙して言わずに済ませず、雑談・相談する）

[報告事項]

- 1) 〇報告を速やかに行い、事故やヒヤリハットへの対応意識を高めた。
- 2) 伝言や記録を行い、職員・事業所間で情報共有を図った。
- 3) メンターが中心となり、夏・冬の行事を企画・実施した。

中長期（令和3年度から3年間）目標について

1. 地域と共にある施設づくり

- ①防災・感染症対策を中心とし、地域との連携による利用者の安全確保体制の強化を図る
- ②地域住民や利用者家族からの要望に対し誠実に取り組む

[報告事項]

- 1) 新型コロナウイルス感染予防策を引き続き実施した。
- 2) 生浜地区地域福祉連携会議や浜野町町内会、諏訪神社のイベント等へ協力した。

2. 社会福祉法人の使命の追及

- ①利用者の尊厳を尊重し、安全・安心な福祉サービスの提供を推進する
- ②快適な暮らしを提供するための施設整備の充実を図る
- ③開かれた法人運営
- ④社会福祉充実計画の検討と実施

[報告事項]

- 1) P A S 及び高圧ケーブルの交換工事を実施した。
- 2) 寄付付き自動販売機を導入した。
- 3) グループホームセレニテの見守りカメラを交換・増設した。
- 4) 屋上の防水工事を実施した。

3. 施設・職場環境の整備

- ①チームワークによる支援体制の充実を図る
- ②職員教育制度の充実を図る
- ③働き方・考え方の多様性を尊重し、職員の職場定着を図る

[報告事項]

- 1) カスタマーハラスメントに対し、チームを立ち上げ対策会議を実施した。
 - 2) メンターを中心に、新入職員のOJTを行った。
 - 3) 施設長が生活支援員に対し排泄介助のスーパービジョンを行った。
- 採用 6 名（入職率： 4 年度 8/60 13.0% 5 年度 14/53 26.4% 6 年度 6/55 10.9%）
退職 8 名（離職率： 4 年度 15/60 25.0% 5 年度 13/53 24.5% 6 年度 8/55 14.5%）

長期目標

1. 地域と共にある施設づくり
2. 社会福祉法人の使命の追及
3. 職場環境の整備

【令和 6 年度業績報告】

1 事業の経過及びその成果

サービス活動収益について

- 1) 令和 6 年度は、各事業の当初予算を前年実績同様とした。
- 2) すべての事業において、平均利用者数が当初予算より減となった。

福祉車両寄贈について

- 1) 24 時間テレビ福祉車両の寄贈を申込み、受領できた。（スロープ付き軽自動車）

支出について

<建物・設備等>

PAS 及び高圧ケーブルの交換工事を実施した。

<人件費・事業費・事務費>

(指標%)	令和 5 年度	令和 6 年度	前年比
人件費率 (60～70%)	68.9%	68.8%	0.1%減
事業費率 (13～15%)	15.2%	14.1%	1.1%減
事務費率 (13～15%)	17.3%	15.4%	1.9%減

<積立金>

- ・修繕積立金からP A S及び高圧ケーブルの交換工事のため625万円を取り崩した。
- ・人件費積立定期預金700万円のうち500万円を夏季賞与のために取り崩し、
年度末に同額の500万円を人件費積立として普通預金に繰り入れた。

法人全体での予算・実績対比と前年度との比較

- 1) 資金収支計算書上の決算額は、概ね予算どおりの内容となった。
- 2) 事業活動計算書について、サービス活動収益は前年と比較して6,851千円の増収となった。
- 3) 今年度の経常増減差額は△18,871千円となった。

社会福祉充実計画について

今年度は社会福祉充実計画作成の必要なし。

2 【資金収支計算書】

(単位：千円)

	予 算	決 算	差異 (予算－決算)	
事業活動収入	343,389	334,311	9,078	(97.4%)
事業活動支出	329,207	326,630	2,577	(99.2%)
事業活動資金収支差額	14,182	7,681	6,501	
施設整備等収入計	0	0	0	
施設整備等支出計	11,204	11,194	10	(99.9%)
施設整備等資金収支差額	△11,204	△11,194	△10	
その他の活動収入計	11,250	11,250	0	(100.0%)
その他の活動支出計	11,728	6,728	5,000	(57.4%)
その他の活動資金収支差額	△478	4,522	△5,000	
予備費支出	2,500	0	2,500	
当期資金収支差額合計	0	1,009	△1,009	

3 【事業活動計算書】

(単位：千円)

	令和5年度	令和6年度	対 比	
サービス活動収益	325,833	332,685	6,852	(102.1%)
サービス活動費用	354,251	351,656	△2,595	(99.3%)
増減差額	△28,417	△18,971	9,446	
サービス活動外収益	4,526	1,626	△2,900	(35.9%)
サービス活動外費用	2,240	1,526	△714	(68.1%)
サービス活動外増減差額	2,286	100	△2,186	
経常増減差額	△26,131	△18,871	7,260	
特別収益	341	2,238	1,897	(656.3%)
特別費用	341	102	△239	(29.9%)
特別増減差額	0	2,136	2,136	
当期活動増減差額	△26,131	△16,735	9,396	

4 【貸借対照表】

(単位：千円)

	令和5年度	令和6年度	対 比	
流動資産	91,076	94,495	3,419	(103.8%)
固定資産	997,872	961,644	△36,228	(96.4%)
資産合計	1,088,948	1,056,139	△32,809	(97.0%)
流動負債	16,214	18,549	2,335	(114.4%)
固定負債	31,664	29,064	△2,600	(91.8%)
負債合計	47,878	47,613	△265	(99.4%)
純資産	1,041,070	1,008,526	△32,544	(96.9%)

【役員会等開催報告】

1 監事監査

令和6年5月23日（木）

令和5年度法人事業経営の監査

2 理事会

第1回理事会 令和6年6月7日（金）

議題 議案第1号 経理規程の一部改正（案）について

議案第2号 令和5年度事業報告（案）について

議案第3号 令和5年度決算報告（案）について

議案第4号 利用者預り金等管理規程の一部改正（案）について

議案第5号 運営規程の一部改正（案）について

議案第6号 定時評議員会の招集について

第2回理事会 令和6年11月5日（火）

（書面決議）

議題 議案第1号 運営規程の一部改正（案）について

第3回理事会 令和7年1月22日（水）

（書面決議）

議題 議案第1号 評議員選任・解任委員の改選（案）について

第4回理事会 令和7年3月19日（水）

議題 議案第1号 令和6年度補正予算（案）について

議案第2号 令和7年度事業計画（案）について

議案第3号 業務用パソコンのリース（案）について

議案第4号 令和7年度当初予算（案）について

議案第5号 苦情解決規程（案）について

議案第6号 育児介護休業等に関する規程の一部改正（案）について

3 評議員会

定時評議員会 令和6年6月24日（月）

議題 議案第1号 令和5年度 事業報告書の承認について

議案第2号 令和5年度決算報告書の承認について

【評議員傍聴】

第4回理事会 令和7年3月19日（水）

議題 議案第1号 令和6年度補正予算（案）について

- 議案第2号 令和7年度事業計画（案）について
議案第3号 業務用パソコンのリース（案）について
議案第4号 令和7年度当初予算（案）について
議案第5号 苦情解決規程（案）について
議案第6号 育児介護休業等に関する規程の一部改正（案）について

事務局

【事務局長 事務員4名 管理栄養士1名 環境支援員4名 ドライバー4名】

1 法人事務

[報告事項]

- 1) 令和6年度の報酬改定に準じた体制届を作成し、行政へ届け出を行った。
- 2) 令和6年6月から福祉・介護職員等処遇改善加算（新加算）への一本化に応じた事務処理を実施し、法人職員へ支給することができた。
- 3) 税理士との打合せを月1回行い、適切な会計処理に努めた。
- 4) P A S 及び高圧ケーブルの交換工事を実施した。（再掲）
- 5) 時間外勤務の実態把握に努め、職員の健康管理に配慮した。また、職員一人ひとりに勤怠の意識づけをする事ができた。
- 6) ハピネス通信やホームページ、掲示板を活用し利用者の日常の様子等、情報発信を積極的に行った。
- 7) ハピネス浜野20周年記念行事企画に協力し参加した。

2 防犯、防災計画

[報告事項]

- 1) 震災総合避難訓練 震度6強の地震による火災発生を想定し、初期消火（模擬動作）、119番への通報訓練、館内放送、避難誘導を含む総合訓練を7月31日と11月20日の2回実施した。
- 2) 夜間想定避難訓練 夜間（23：00）に火災が発生した事を想定、火災発見から初期消火（模擬動作）、119番通報訓練、利用者の避難誘導訓練を3月5日に実施した。

3 食事提供

[報告事項]

- 1) 食事形態を話し合い、利用者の状況に合わせて適宜変更を行った。
- 2) 行事食は季節・行事メニューを月1回のペースで提供した。
- 3) 日常食材と備蓄食の在庫管理を徹底し、非常時への備えと食品ロスに対して真摯に取り組んだ。

障害者支援施設ハピネス浜野

(生活介護・施設入所支援・短期入所)

【施設長 サービス管理責任者 2 名 生活支援員 2 4 名 医務 4 名 リハビリ 1 名】

目標

- ・利用者の声を聴き、その人に必要なサービスをチームで提供する。
～アセスメント・ケース会議の定着～
- ・利用者が楽しいと思える生活の場を提供する。
～活動の充実～

〔報告事項〕

- 1) 入所が 1 床空いていたが、3 月より満床となった。
- 2) 通所利用者の体調不良や利用日数減もあり、生活介護の平均利用者数が下がった。
- 3) 利用者の事故予防や健康管理等は施設全体で対応した。
- 4) メンターがフェスの担当を担い、利用者が楽しく過ごす時間を作ることができた。また、日中活動での様子を写真のプレゼントや、ハピネス通信で掲載した。

【利用者年齢構成】

令和 7 年 3 月 3 1 日現在

		10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	計 (人)
入所 利用者	男	0	1	2	3	4	6	1	17
	女	0	0	0	4	4	5	2	15
通所 利用者	男	0	8	5	2	1	0	0	15
	女	0	6	0	3	0	0	0	9
計		0	15	7	12	9	11	3	57

【利用者平均年齢】

入所利用者 55.3 歳

通所利用者 32.1 歳

生活介護

目標

- ・利用者の意思と人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービス提供を行う。

[報告事項]

1) 日中活動・行事

サマーフェスに合わせて、ハピネスパークと名付けて風船やトランポリンなどで運動した。冬季には足湯温泉を実施し、温泉気分を味わいリラクゼーションを行った。ウインターフェスでは「マンドリン奏者」を招いてクリスマス音楽を楽しんだ。

2) 日々の生活場面

利用者間の交流や活動の場が広がり、クイズやしりとりなどの考える活動やカラオケ活動などの日中活動を通して利用者の活動への参加意欲も高まってきた。なお、活動における飛沫感染を避ける為、基本的な感染予防対策は継続して実施している。

3) 他施設との連携

生活介護を併用している利用者の利用状況について他事業所と連絡を取り合い、その利用者にとって、より良い環境で過ごせるよう調整を行った。

4) 送迎サービス

ドライバーと添乗員が協力し、運行中の車内の換気や消毒を実施した。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	12,436	11,624	△812
1日あたり平均利用者数（名）	48.4	45.2	△3.2（93.4%）
事業収入（千円）	189,149	190,096	947（105.0%）

【直近5年間の利用者の推移】

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
利用者定員（名）	60	60	60	60	60
1日あたり平均利用者数（名）	52.3	52.1	50.0	48.4	45.2
稼働率（%）	87.2	86.7	83.3	80.7	75.3
稼働日数（日）	261	259	261	257	257
利用者延べ人数（名）	13,649	13,587	12,558	12,436	11,624
事業収入（千円）	208,869	211,876	201,538	186,590	190,096
平均障害支援区分	5.5	5.8	5.7	5.5	5.5

施設入所支援

目標

- ・利用者の立場に立ったその人らしい生活の支援に努める。

【報告事項】

1) 健康管理、感染対策	医務室と連携を図り、利用者の体調の変化に留意し、早期発見、早期治療に繋がった。休日の健康管理を十分に行い、体調不良が疑われた際には、連絡が取れる体制を構築した。また、家族への連絡も遅滞なく行った。 利用者へ消毒やマスク着用を促した。陽性者が出た際は、ゾーニングの実施、各居室での対応、ディスポ食器使用等で感染拡大防止に努めた。
2) 活動等について	市のスポーツ大会、諏訪神社への初詣や節分祭等、実施された行事に参加した。 県身協主催のオセロ大会で団体Ⅰ、個人で優勝することができ、祝勝会を行った。浜野町会主催のオセロ大会にも参加し、地域の人々と触れ合う機会もあった。また、お月見行事として月見をしながら手持ち花火を楽しんだ。また生実池の花火大会を施設から鑑賞した。
3) 利用者懇話会（今年度は1回のみ実施）	施設からの連絡事項の伝達や、利用者と意見交換を行った。
4) 支援内容等	フロア間の移動規制が無くなった事で利用者間の交流や活動への参加機会を提供し、コロナ禍前と変わらぬ生活環境に戻る様に支援を行った。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	11,049	10,777	△272
1日あたり平均利用者数（名）	30.2	29.5	△0.7（97.7%）
事業収入（千円）	82,954	77,654	△5,300（93.6%）

【直近5年間の利用者の推移】

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
利用者定員（名）	32	32	32	32	32
1日あたり平均利用者数（名）	31.4	31.5	30.6	30.2	29.5
稼働率（%）	98.1	98.4	95.6	94.3	92.2
稼働日数（日）	365	365	365	366	365
利用者延べ人数（名）	11,462	11,493	11,170	11,049	10,777
事業収入（千円）	75,549	78,421	78,217	76,300	77,654
平均障害支援区分	5.3	5.4	5.3	5.3	5.3

短期入所

目標

- ・利用者や家族の生活状況に応じ、希望に沿った利用ができるよう体制を強化する。

[報告事項]

- 1) 送迎時に家族の健康チェックと健康チェックカードを配布し、自宅での健康状態の把握に努めた。また、マチコミメールの登録を呼び掛け、迅速な情報発信に努めた。
- 2) 恒常的に利用する利用者はできる範囲で希望に沿った利用ができるよう調整を行った。緊急な延長や変更についても柔軟に対応した。
- 3) 利用者自身だけでなく、利用者の家族の体調等の事情に応じて、ベッドコントロールを行った。

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数（名）	1,578	1,657	79
1日あたり平均利用者数（名）	4.3	4.5	0.2（105%）
事業収入（千円）	15,316	23,281	7,965（152.0%）

【直近5年間の利用者の推移】

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1日あたり平均利用者数（名）	5.3	4.9	3.7	4.3	4.5
稼働率（%）	88.4	81.6	61.7	71.7	75.0
稼働日数（日）	365	365	365	366	365
利用者延べ人数（名）	1,935	1,791	1,345	1,578	1,657
事業収入（千円）	23,925	22,944	17,680	20,864	23,281
平均障害支援区分	5.8	5.7	5.5	5.8	6

医 務 室

[報告事項]

- 1) 利用者様の健康管理・医務室対応受診について
・皮膚科定期受診・眼科1件・発熱8件・嘔吐1件・整形3件・めまい・嘔吐により救急搬送1件・乳がん検診1件
- 2) 皮膚科通院
コロナ感染症5類へ移行されてことにより、月/1回通院となる。定期受診者3名+褥瘡・蜂窩織炎利用者に関してはご家族受診依頼や適宜受診するなどし対応した。
- 3) 日々の体調管理と服薬・軟膏処置管理として、毎月1回嘱託医の入所利用者の診察を実施し相談しながら健康管理維持に努めた。
- 4) 月2回の歯科医師による訪問診療では入所利用者28名+セレンテ2名が歯石除去、虫歯治療、義歯調整、歯磨き指導等実施された。
- 5) 入所者9名（希望者）に大腸がん健診実施（10月）：1名陽性も嘱託医・本人と相談の上経過観察
- 6) インフルエンザ予防接種11月に25名（入所21名+セレンテ2名+SS利用者1名）接種。
- 7) 令和6年度インフルエンザ3名・コロナ感染症罹患者：職員6名入所利用者8名セレンテ1名通所6名発生時には各部署と連携を図りソーシャルディスタンス・感染者の居室・感染隔離を行い、ゾーニングとPPE装着、換気とマスク着用、手洗い・使い捨て食器対応など感染対策を行った。又、ご家族へ連絡し協力を得るなど対応した。他利用者の体調の変化に留意し、早期発見、早期対応に努めた。
- 8) 施設利用者の病状変化に伴い医療ケア（尿・膀胱瘻留置カテーテル管理（3名）、胃瘻・経管栄養管理（4名）、気管切開部管理（1名）、気管内および口鼻腔内吸引（約3名））を実施した。
- 9) 利用者の体重・栄養面での観察、栄養士と共に栄養マネジメントを実施し、体重増・減少者に対しては嘱託医診察時に相談し、栄養補助（エンシュア等）にて体重管理を行った。またご家族と連携に努め対応した。
- 10) 入所利用者30名と短期入所利用者1名に定期健康診断を年2回実施。結果は嘱託医および家族に連絡し、主治医への相談・連携も図った。
- 11) 今後さらに利用者の高齢化と障害に伴い、健康状態の悪化や医療ケアの必要度と身体的な急変時の対応が必要になってくると思われる。また医療的ケア児の増加に伴い個別性に沿った対応や看護が求められる。疾病予防や早期発見に力を入れるとともに職員全体で情報の共有を図り、感染予防と健康の維持に努めたい。
- 12) 衛生物品等の管理

リハビリ

[報告事項]

- ・理学療法士により、入所利用者に対して週1回、通所利用者に対して2週に1回の頻度でリハビリテーションを実施した。時間は利用者の身体状況に応じて1回につき20分から40分の間で行った。
- ・リハビリテーション実施計画書を6か月に1回作成した。
- ・車椅子および下肢補装具等の修理・新調について、必要に応じて専門業者と評価を行い、ご家族や施設職員の意向を踏まえて実施した。
- ・利用者の食事時の姿勢や食具の評価を行い、環境を調整し補助具の提供を行った。

【利用者行事等実施報告】

月	行 事	場 所	行事食・その他
4 月	お花見 オセロ対決（15 日）	ねむの木広場	お花見弁当
5 月	千葉県障害者スポーツ大会 （12 日） 兜飾り オセロ対決（30 日）	青葉の森公園陸上競技場 ねむの木広場 〃	端午の節句メニュー
6 月	オセロ対決（14 日） 県身協オセロ大会 祝勝会	ねむの木広場 上総アカデミアホール ねむの木広場	リクエストメニュー
7 月	20 周年記念行事（3 日） 七夕飾り オセロ対決（18 日）	各階フロア ねむの木広場 〃	キッチンカー来所
8 月	生実池花火大会鑑賞（18 日）	集会室、ベランダ	土用の丑の日メニュー
9 月	お月見と花火 オセロ対決（12 日） 利用者健康診断	2 階バルコニー、集会室 ねむの木広場 2 階フロア、集会室	月見バーガー
10 月	ハロウィンウィーク（仮装） オセロ対決（18 日） 県身協ボッチャ大会	各階フロア ねむの木広場 千葉市ハーモニープラザ	ハロウィンメニュー
11 月	インフルエンザ予防接種 オセロ対決（22 日）	入所フロア ねむの木広場	リクエストメニュー
12 月	クリスマス（マドリル演奏） オセロ対決（20 日）	各階フロア ねむの木広場	クリスマスメニュー 年越しそば
1 月	初詣（1 日） オセロ対決（17 日） 懇話会	諏訪神社 ねむの木広場 3 階フロア	おせち料理 七草粥・白玉汁粉
2 月	オセロ対決（24 日） 節分祭（2 日）仮装 浜野町会オセロ大会（23 日）	ねむの木広場 諏訪神社 浜野会館	節分メニュー
3 月	ひな壇飾り オセロ対決（17 日）	ねむの木広場 ねむの木広場	ひな祭りメニュー
毎月	【理美容】 アラモード（第 3 月曜） 髪人（第 3 火曜） 【ボランティア活動】 ボッチャ（偶数月 第 2 水曜）、車椅子ダンス（毎月 第 2 月曜日） 歌を楽しむ会（令和 7 年 2 月から再開、毎月 水曜日） 【その他】 体重測定（1 回） 嘱託医診察（1 回） 訪問歯科診療（2 回） みんなの声ポスト確認（月初）		

20周年記念行事

映像を交えてハピネスの歴史を振り返りながら職員・利用者共にゆっくりとした時間を過ごした。初のキッチンカーにて食事を提供した。それぞれが好きなタイミングで好きな食事を選択・召し上がり1日を楽しんだ。地域の方々もお祝いに来てくださった。

千葉市スポーツ大会

4名の参加者は日頃の運動の成果を発揮するとともに、大会の雰囲気を楽しんだ。昼食はアリオ蘇我のフードコートで各々が食べたい物を購入し飲食を楽しんだ。

サマーフェス→ハピネスパーク・生実池花火大会鑑賞・お月見パーティー

サマーフェスは、ハピネスパークと名付けた企画として、ねむの木広場をたくさんの風船で飾り付けて、トランポリンなどの運動やデザートバイキングで楽しんだ。次に生実池花火大会を集会室からアイスクリームを食べながら鑑賞した。参加利用者も多く職員と共に大変盛り上がった。最後にお月見の日は花火をしながら月見を楽しんだ。サマーフェスを締めくくった。

クリスマス会→クリスマス会（マンドリン演奏鑑賞）

1階 ねむの木広場に通所、2階、3階の各利用者が集まって、マンドリン演奏のボランティアを招待し、クリスマスソングなどを鑑賞したり、一緒に歌ったりした。演奏会終了後は保護者会からいただいたケーキを食べてクリスマスの雰囲気を楽しんだ。

行事食

季節行事を意識した献立で昼食を提供した。

利用者懇話会

通所・入所利用者が参加し、感染予防対策や行事、日々の活動、食事について話し合った。

オセロ大会（県身協主催）

団体戦Ⅰ部、個人戦で優勝した。翌日、優勝の祝賀会をねむの木広場で行った。

ボッチャ大会（県身協主催）

初めての大会に参加し、初戦突破した。

オセロ対決

児童通所支援の職員が、日程調整、会場設営、写真撮影、対戦相手への挑戦状作成など尽力してくれたおかげで、ねむの木広場で入所利用者有志と職員によるオセロ対決ができた。

日中活動

【物作り】各フロアの壁面装飾として、折り紙や色画用紙を使い季節ごとの花を作成した。
また、季節ごとに入れ替えたりしながら創作活動を行った。

【季節活動】お花見（八幡公園）七夕（短冊を作成、笹に飾る）、花火大会（生実池花火大会見学）、クリスマス（人間クリスマスツリーコンテスト）と、各季節に応じた活動を行った。

【外出活動】例年実施されている諏訪神社節分祭へ参加。お花見として八幡公園までドライブし、途中でコンビニやマクドナルドで食べ物を買ひ、お花見を楽しんだ。外泊が無い利用者様は久々の外出で自身の欲しい物を選択し買い物できたことに喜ばれていた。

【利用者週間活動実施報告】

	午 前	午 後
月曜日	機械浴(男女) 各種個別活動	各種全体活動 機械浴(男)
火曜日	機械浴 (男女) 各種個別活動	機械浴 (女) 各種全体活動
水曜日	機械浴 (男女) 各種個別活動	各種全体活動 体重測定 嘱託医診察（施設入所支援利用者のみ）
木曜日	機械浴 (男女) 各種個別活動	各種全体活動 機械浴(男) 訪問歯科（入所者・入居者のみ）
金曜日	機械浴 (男女) 各種個別活動	機械浴 (女) 各種全体活動
土曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備
日曜日	各種個別活動 居室内環境整備	レクリエーション 居室内環境整備

【ヒヤリハット報告】 計 84 件

区分

移乗時	6	紛失	0
食事時	3	物損	7
入浴時	0	その他（設備）	7
排泄時	0	その他（利用者）	0
異物混入	0	その他（職員）	14
薬	0	フロア移動	0
返却忘れ	17	確認不足	28

年度	R 4	R 5	R 6
件数	142	83	84

件数は前年度と著しい変化はなかった。確認不足(28)は添乗員の同乗ミス、薬のセットミス、その他に戸締りなどセキュリティ面での失念。返却忘れ(17)は、昨年度と同様に通所や短期入所利用者の連絡帳や衣類等。物損(9)は経年劣化による施設備品の破損、故障やベッドなどの破損があった。報告内容に対して、リスクマネジメント委員が分類や再発防止に向けた検討を行い、報告者へフィードバックを実施した。次年度は人身系・物損系で分類し、内容を分析していく。

【事故報告】 計 94 件

区分

転倒（自立その他）	3	返却忘れ	9
転倒（要介助）	9	物損	14
転落（自立その他）	2	紛失	1
転落（要介助）	11	その他（設備）	1
外傷	8	その他（利用者）	4
服薬ミス	9	離設（施設外）	0
異食・誤飲	0	他害	0
異物混入	1	その他（職員）	15
救急搬送	0	—	

年度	R 4	R 5	R 6
件数	121	87	94

件数は前年度よりも増加した。転倒（要介助）(9)、転落（要介助）(11)は大きな怪我を伴う事故には至らず、居室内やトイレ内で、すでに転倒されていたところを発見した事故報告だったが、同じ利用者が繰り返し転倒や転落されることが多かった。

服薬ミス（落薬・残薬等）(12)では、利用者名の確認不足による誤薬や薬の飲ませ忘れ、セットミス等、職員による事故報告だった。その他（職員）に関しては、食事提供表や変更届の記入ミス、また、施設内の施錠忘れなどセキュリティ面のヒューマンエラーによる事故等であった。次年度は人身系、物損系で分類し、内容を分析して事故削減に取り組む。

【千葉市への事故報告】

0 件

【千葉市への感染症報告】

なし

【苦情等について】

「みんなの声」ポストへの投函はなかった。また、苦情に繋がる相談もなかった。

相談支援事業所ハピネス浜野

(計画相談支援・障害児相談支援)

【相談支援専門員 1名】

目 標

- ・地域に密着した支援、障害児・者や家族の思いを可能な限り実現できるよう相談を行う。
- ・勉強会や相談支援に必要な研修に参加し、異業種、他事業所との交流に努め、ネットワークを構築していく。
- ・福祉や相談に関する知識・技術の習得に努め、知識・技術に基づいた様々な対応ができる知恵と高い専門性を持てるよう継続的に研鑽を積む。

[報告事項]

- 1) 計画相談支援契約総数 101 名（令和 7 年 3 月 31 日時点）。新規契約は障害児 6 名。契約終了者は、障害者 1 名。障害児 4 名。内訳は、サービス利用の希望なし 4 名、介護保険サービスへの移行 1 名となっている。
- 2) 新型コロナウイルス感染症が 5 類となり、利用者や家族へのモニタリングは事前に希望を確認し、可能な限り訪問や電話で行い、時間の都合のつかない場合はメール等で実施した。事業所へは事前に対応状況を確認し、可能な限り訪問を行い直接利用者の現状や各事業所の運営内容を理解した。事業者間の連携、情報交換を行い、新規利用者の獲得につなげていった。
- 3) 相談支援関係の研修や意見交換会に積極的に参加し、情報交換や交流、スキル向上に努めた。

【資金収支計算書による予算・実績】

	計画	実績	差異
計画相談支援事業収入（千円）	3,314	2,769	△545 (83.6%)
障害児相談支援事業収入（千円）	1,267	1,564	297 (123.4%)
合 計	4,581	4,333	△248 (94.6%)

【直近 5 年間の利用者の推移】

(計画相談支援)

	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
計画書作成件数（件）	74	74	86	51	34
モニタリング件数（件）	260	225	179	213	167
新規契約件数（件）	5	5	1	2	0
3 月 31 日時点契約件数（件）	111	98	94	72	71
事業収入（千円）	4,216	4,709	4,061	3,443	2,769

(障害児相談支援)

	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
計画書作成件数 (件)	34	43	35	39	38
モニタリング件数 (件)	86	73	44	79	75
新規契約件数 (件)	7	11	0	5	6
3 月 31 日時点契約件数 (件)	34	35	34	28	30
事業収入 (千円)	1, 417	2, 023	1, 328	1, 455	1, 564

【ヒヤリハット報告】 0 件 (前年 0 件)

【事故報告】 0 件 (前年 0 件)

指定障害児通所支援事業所ハピネス浜野

(児童発達支援・放課後等デイサービス)

【管理者兼児童発達支援管理責任者 1 名 保育士 2 名】

[報告事項]

- 1) 健康管理と感染予防に努めた。
- 2) 固定利用児の利用回数をご家族と相談し、必要に応じ利用日の調整を行った。
- 3) 個別支援計画書の理解に努め、個々の利用児の課題に取り組んだ。
- 4) 特別支援学校や他事業所との連絡を積極的に実施し、情報収集や共有に努めた。
- 5) ヒヤリハットや事故報告が起きた場合は情報共有し、早期に部署内で話し合う時間を持ち、問題点を探り解決方法を見つけられるよう努めた。
- 6) ハピネス通信にて活動の様子を伝えた。
- 7) 新規契約は児童発達支援利用に 1 名。

【資金収支計算書による計画・実績（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

	計画	実績	差異
児童発達支援利用者延べ人（名）	308	175	△133
放課後デイ利用者延べ人数（名）	664	732	68
合 計（名）	972	907	△65
児童発達支援 1 日あたり平均利用者（名）	1.2	0.7	△0.5
放課後デイ 1 日あたり平均利用者数（名）	2.6	2.9	0.3
合 計（名）	3.8	3.6	△0.2 (94.7%)
児童発達支援事業収入（千円）＊	1,646	5,201	3,555 (316.0%)
放課後デイ事業収入（千円）	14,947	13,956	△991 (93.4%)
合 計（千円）	16,593	19,157	2,564 (115.5%)

【直近 5 年間の利用者の推移（児童発達支援事業＋放課後等デイサービス）】

※平成 27 年 10 月事業開始

	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
1 日あたり平均利用者（名）	3.7	3.9	3.4	3.8	3.6
稼働率（％）	62.0	65	56.7	63.3	60.0
稼働日数（日）	259	259	251	257	251
利用者延べ人数（名）	963	1,020	845	972	907

【ヒヤリハット報告】 計 19 件

区分

確認不足	10
活動時	2
返却忘れ	3
送迎時	1
その他（職員）	3

前年度 22 件

【事故報告】 計 14 件

区分

転倒	2
外傷	5
物損	0
活動時	1
その他（職員）	6

前年度 9 件

次年度はヒヤリハット・事故の内容を人身系・物損系で分類し分析し、削減に取り組む。

【千葉市への事故報告】

0 件

【苦情等について】

なし

児 童 発 達 支 援

目 標

- ・様々な経験を積み重ね、遊びの中から自発性や、自己表現力を育てる。
- ・療育や訓練を通じて、自発性を発揮できるよう関わる。
- ・集団での活動により、家族以外の大人や子ども同士の関わりを広げる。

[報告事項]

- 1) 『朝のウォーミングアップ』のカリキュラムを継続して取り組んだ事で、自発的に身体を動かしたり、感情表出を促すことが出来た。
- 2) 集団活動は粗大運動や感覚（触・視・聴・前庭・固有）遊び等を中心に実施した。砂場、ボール、パラバルーン、マットそり、ボールプール、水遊び、ロールポケット、ブランコ、タオルブランコ、エアートランポリン、斜面台、滑り台、散歩、温水プール等、色々な感覚入力の経験が出来るよう取り組んだ。
個別活動に微細運動（お絵描き・紙ちぎり・ビニールテープ裂き・ボードゲーム等）の色々な感覚入力の経験が出来るよう取り組んだ。
- 4) サマーフェスは、水遊びやプール遊びを実施し水の感触を経験し、浮力の中で身体を動かして楽しめるよう環境を整えた。
- 5) オータムフェスはハロウィンパーティーを実施した。他職種へ依頼し1F～3F までをお化け屋敷のような環境にした。
- 6) ウィンターフェスはクリスマス会を実施。エアートランポリン等、ダイナミクスな遊びを提供した。
- 7) ひな祭りは子どもたちと一緒にひな人形を飾った。
- 8) 卒業式は今年度の卒業生は2名。入所の利用者と一緒に卒業パーティーをした。
- 9) 長期休み期間等、長期休暇は放デイ利用児との関りを楽しめるように支援した。
- 10) お友だちと一緒に、送迎車での外出活動を経験出来るよう支援した。

【直近5年間の利用者の推移】

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1日あたり平均利用者（名）	0.9	1.2	1.3	1.2	0.7
稼働日数（日）	259	259	251	257	251
利用者延べ人数（名）	246	307	326	308	175
事業収入（千円）	3,260	4,184	4,370	4,877	5,201

放課後等デイサービス

目 標

- ・一人ひとりの障害特性を理解し、快適な時間を送れるよう計画・実施する。
- ・様々な経験を積み重ね、活動や他者との関わりの中から、自発性や自己表現力を伸ばす。

[報告事項]

- 1) 触刺激を中心に体幹刺激を入れるカリキュラムを作成し取り組んだ事で、覚醒率が上がり自発的に身体を動かしたり、感情表出を促せた。
- 2) 休み等には小集団で外出活動を取り入れた。年齢や発達状況に応じてグルーピングし、周囲にも興味関心や社会性を付けられるよう、外出場所を考慮し支援した。
- 3) 個別の関りが必要な状況の児童に対しては、1対1でじっくりと関わる時間を設けたり、散歩に出かける等の配慮し、快適な時間が送れるよう努めた。
- 4) 活動の中に、粗大運動や感覚遊び等を取り入れ、様々な(ボール、パラバルーン、マットそり、ボールプール、水遊び、ロールポケット、ブランコ、タオルブランコ、エアートランポリン、斜面台、滑り台、散歩等)経験が出来るよう取り組んだ。また、微細運動(紙ちぎり、新聞遊び、お絵かき、ボードゲーム等)も取り入れる事で、自発的に訴える等の感情表出を促せるように支援した。
- 5) 個別支援計画書通り、必要な利用児にたいしては個別の外出を実施した。

【直近5年間の利用者の推移】

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
1日あたり平均利用者(名)	2.8	2.7	2.1	2.6	2.9
稼動日数(日)	259	259	251	257	251
利用者延べ人数(名)	717	713	519	664	732
事業収入(千円)	13,528	13,309	9,849	11,280	13,956

【行事等実施報告】

月	行事内容	場 所
4月	お花見	施設周辺
5月	端午の節句	ねむの木広場
7月	七夕	ねむの木広場
8月	サマーフェス	中庭
10月	オータムフェス	会議室
12月	ウィンターフェス	会議室
3月	ひな祭り	ねむの木広場
3月	卒業式	ねむの木広場

＊月間活動：誕生会
 ＊外出活動：長期休み時等に小集団にて、グループにあった外出活動を提供
 ＊サマーフェス：夏休み期間中ハピネス浜野内の中庭にてプールを実施
 ＊オータムフェス：会議室を中心にハロウィンパーティーを実施
 ＊ウィンターフェス：会議室にてエアートランポリンやおやつパーティーを実施
 ＊ひな祭り：7段飾りのお雛様を子どもたちと一緒に飾る
 ＊卒業式：3階集会室にておやつパーティーを実施

グループホームセレニテ

(共同生活援助)

【管理者兼サービス管理責任者 1名 生活支援員・世話人4名】

目 標

- ・利用者の心身の状況に応じた生活スタイルを確立できるよう援助する。
- ・利用者の心身の変化を察知・理解し、事故予防に努める。
- ・利用者主体で行事の計画を立て、実施する。
- ・適切な財務と運営管理を行う。

[報告事項]

- 1) 食事提供をタイヘイクッキング・デポへ移行し、安定した食事の提供に努めた。
- 2) 利用者1名の精神状況・身体状況に悪化が見られ、夜間も支援が必要な状況となり8月中旬より短期入所を利用。夜間支援が必要な状況は継続しグループホームでの生活は困難なため10月末に退去。(ハピネス浜野へ入所)
- 3) 利用者1名がインフルエンザに罹患。他利用者へ感染が拡大しないよう対策に努めた
- 4) 利用者1名の日中活動先の変更に伴い、帰所時間も変わり入浴順や入浴方法の見直しなど行い、夕食時間までに全員の入浴を終えられるよう配慮した。
- 5) 活動では、お花見を桜の満開予報に合わせ前年度中に実施。秋のお出かけで船橋アンデルセン公園へ外出。マスク着用は継続したが、コロナ禍前のように外出を楽しむことが出来た。週末の買い物は、土曜日に勤務・他活動に参加している利用者も買い物に参加しやすいよう曜日調整を行った。

【入居者年齢構成】

令和7年3月31日時点

		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計(人)
セレニテ 入居者	男	0	1	1	0	2	0	0	4
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
計		0	2	1	0	2	0	0	5

【資金収支計算書による計画・実績】

	計画	実績	差異
利用者延べ人数(名)	2,020	1,815	△205
1日あたり平均利用者数(名)	5.5	5.0	△0.5(90.9%)
事業収入(千円)	21,542	18,134	△3,408(84.2%)

【直近５年間の利用者の推移】

	２年度	３年度	４年度	５年度	６年度
利用者定員（名）	6	6	6	6	6
１日あたり平均利用者（名）	5.8	5.8	5.7	5.5	5.0
稼働率（％）	96.4	96.6	95.0	92.4	84.0
稼働日数（日）	365	363	365	364	360
利用者延べ人数（名）	2,112	2,120	2,085	2,020	1815
事業収入（千円）	19,809	20,900	21,429	20,559	18,134
平均障害支援区分	3.8	3.8	4.2	3.9	3.4

【活動実施報告】

月	活 動	場 所
前年度３月	花見	千葉市動物公園
１１月	紅葉狩り（９日）	船橋アンデルセン公園
１２月	忘年会（２０日）	セレニテ
２月	節分祭（２日）※行事食の提供	セレニテ
週末	買い物	ベイシア（八幡店）等

【ヒヤリハット報告】 計１７件

区分

	ヒヤリハット件数
移動	１件
移乗	０件
入浴	０件
服薬	１件
調理	５件
確認不足	２件
返却忘れ・間違い	１件
その他（利用者）	１件
その他（設備）	３件
その他（職員）	３件

前年度 ６件

【事故報告】 計１５件

区分

	事故件数
転倒（自立）	２件
転倒（要介助）	３件
ずり落ち（自立）	１件
外傷	０件
服薬	１件
他害行為	０件
物損	２件
異物混入	０件
調理	０件
その他（職員）	６件

前年度 ２１件

大きな怪我に結びつくことはなかったが、利用者の不調に伴う転倒件数が今年度は多かった。食事準備の手順が変わりヒヤリハットが増加、手順の見直し環境要因のものは、整えて再発防止に取り組んだ。次年度はヒヤリハット・事故の内容を人身系・物損系で分類し分析し、削減に取り組む。

【千葉市への事故報告】

０件

【法人職員研修・実習生受け入れ等実施報告】

月	研 修 等	実習生等 受け入れ
5 月		
6 月	関ブロ職員支援力アップ勉強会 中央区障害者基幹相談支援センター意見交換会	
7 月	千葉県相談支援従事者初任者研修 千葉県身協職員研修会 第1回職員研修会 安全運転管理者講習 千葉市地域支援生活拠点登録事業者向け勉強会 嘔吐物処理研修（内部：感染症対策委員会）	
8 月	千葉県相談支援従事者初任者研修 千葉県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者実践研修 中央区障害者基幹相談支援センター意見交換会 人の尊厳とスーパービジョン研修会 進化的 SV モデルによる演習	
9 月	人の尊厳とスーパービジョン研修会 進化的 SV モデルによる演習 千葉県相談支援従事者初任者研修 千葉県サービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者実践研修 第46回全国身体障害者施設協議会研究大会 給食施設研修会 千葉市防火管理者協議会中央支部研修会 社会福祉施設等を対象とした感染症予防講習会 身体拘束廃止に向けて研修（内部：身体拘束廃止委員会）	
10 月	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 摂食・嚥下の基礎知識研修	
11 月	千葉県相談支援従事者初任者研修 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 全身協 第12回職員スキルアップ研修会	
12 月	全身協 第22回地域生活支援推進研究会議 成人期施設職員研修会（華麗に歳を重ねる） 南関東・甲静ブロック協議会セミナー 嘔吐物処理研修（内部：感染症対策委員会）	
1 月	相談支援事業所の相談員交流会 県身協第2回職員研修会（意思決定支援の充実に向けて） 不適切ケア・職員セルフチェックリスト研修（内部：虐待防止委員会） カスタマーハラスメント研修（内部：安全衛生委員会）	
2 月	千葉県相談支援従事者等専門コース別研修（障害児への相談支援） アンガーマネジメント研修（内部：虐待防止委員会） 身体拘束廃止に向けて研修（内部：身体拘束廃止委員会）	
3 月		

研修等

- ・職員それぞれのキャリアパスに応じた資質向上を図るため、全社協福祉職員キャリアパス対応生涯研修等に参加した。
- ・委員会主催で内部研修会を実施した。

実習生等受け入れ

- ・相談援助実習生・基礎看護実習生・介護福祉士実習生はなし。

【法人内委員会・諸会議実施報告】

① 安全衛生委員会 … 職員の安全及び労働衛生の改善

[報告事項]

- 1) 職員健康相談の相談数は年間 2 件で、体調について産業医に相談した。
- 2) 部署内では大掃除を 2 回、産業医とともに衛生管理者が施設内巡回を 1 回実施した。
- 3) カスタマーハラスメント研修（1 月）：【厚生労働省】「障害福祉の現場におけるハラスメントに関する職員研修」を視聴しアンケート調査を実施、集計し報告した。
- 4) 健康診断（腰痛検査含む）、インフルエンザの予防接種、ストレスチェックを実施した。
- 5) 新型コロナウイルスの感染症 5 類へ引き下げ後も継続して、出勤前の検温、館内消毒、手指消毒、マスク着用を促した。
- 6) 産前休職者：1 名（看護師 3 月末～）
- 7) 時間外労働超過者：0 件

② リスクマネジメント委員会 … 施設全体のリスクマネジメント

[報告事項]

- 1) 月ごとに委員 2 名が担当となり、ヒヤリハット報告書のフィードバックを行い、事故報告書では、報告書の様式を改定し、提出者と委員とで「なぜなぜ分析」を行い、再発防止を図った。
- 2) リスクマネジメント委員が中心となり、カスタマーハラスメント対策会議を実施し、職員へ聞き取りを行い、委員から職員へ統一した対応をとるようレクチャーした。
- 3) 事故報告書の内容を精査し、「なぜなぜシート」を取り入れ、報告者と委員とで自己検証を行った。

③ 感染症対策委員会 … 施設内感染の予防及び発生防止のための対策と職員教育

[報告事項]

- 1) 入所利用者においてインフルエンザ・感染性胃腸炎等の発生はなかった。コロナウイルス感染者が出たものの、他部署と連携を図り職員間の情報の共有と発生時の感染対応（PPE 装着、毎日の館内消毒、また利用者、職員へのソーシャルディスタンス、マスク着用、手洗い）を行ったことで感染の拡大を防げた。
- 2) 新型コロナウイルス感染予防を含めた自己チェックシート配布と環境巡視を年 3 回実施した。ポスター作成・掲示し、職員・利用者への協力と感染対策への意識づけを図った。
- 3) 嘔吐物処理動画研修を行い処理時の手順を確認し手技の統一を行った。感染発生時や発熱時の対応・嘔吐物研修に際し事前に委員間での研修や情報の共有を図り予防に努めた。

④ 身体拘束廃止委員会 … 不要な身体拘束のない介護の実践に向けた取り組み、内部研修の実施

[報告事項]

- 1) 車椅子のベルト等、またベッド柵の使用状況を再確認して、身体状況に伴う理由と、安全に利用できる方法を再検討した。新任職員を含めて、改めて支援の現場に周知する機会とした。
- 2) 身体拘束に関する同意書を作成し、利用者家族への説明および署名をいただいた。
- 3) 車椅子の誘導等の支援を行う点から全職員を対象として、利用者の具体的な支援場面をあげて、なぜ身体拘束となるのかとその理由を考える研修を実施した。

⑤ 虐待防止委員会 … 虐待に関する調査と検討 人権擁護・虐待防止のための職員教育

[報告事項]

- 1) 虐待の早期発見や自身の振り返りをする為の「職員セルフチェックリスト」を、2回（7月、2月）実施した。
- 2) 不適切なケア発生時の委員会としての対応や取り組みについて検討した。
- 3) 全職員対象で虐待防止に繋がる研修（ネグレクト、スピーチロック）を資料研修で実施した。
- 4) 虐待・不適切なケア防止に関するポスターを館内各所に掲示し、啓発活動を行った。

⑥ 防犯・防災委員会 … 防災計画の立案・実施と防犯・防災対策の推進、内部研修の実施

[報告事項]

- 1) 防災備品の整理を行い、ヘルメット、消火器、さすまた等の置き場所意を確認、整備した。
- 2) 利用者参加で避難訓練（総合2回、夜間想定1回）を実施した。
- 3) 内部研修として、職員全員を対象に、消火器の使い方の研修を行った。
- 4) 緊急連絡網を用いた緊急伝達訓練を実施した。
- 5) 委員を中心に担架の使用法の確認を行った。

⑦ 運営会議 … ハピネス浜野の運営管理

[報告事項]

- 1) 利用者関連事項を各部署で検討した。

⑧ 給食会議 … 利用者の食事全般や衛生に関する取り組み、給食委託業者との話し合い

[報告事項]

- 1) 給食委託業者と施設長・栄養士・サビ管・児発管が参加して2ヶ月に1回、利用者の喫食状況の把握、食事形態・量の検討を行い適宜変更し、食事を提供した。
- 2) 行事食の検討および防災食の入替を実施した。

⑨ 経営会議 … 法人、各事業の関係者による運営管理

[報告事項]

- 1) 法人の各事業の運営について検討した。

⑩ 全体会議 … 全職員へ法人・施設の報告事項を伝える

[報告事項]

- 1) 利用者関連事項、事務（給食）、行事関係等を文書により連絡した。

⑪ リーダー・メンター会議

- 1) 年度前半はリーダーのみ、メンターのみで会議を行っていたが、後半はリーダーとメンターが合同で新人育成、行事、業務改善等を話し合った。